Ver.2307

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学･医学系研究に関する倫理指針＞に基づき，研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば，他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で，研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて，研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので，その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも，研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞

剖検症例を用いた冠状動脈硬化性病変の病理組織学的検討

＜研究機関・研究責任者名＞

日本大学医学部　病態病理学系人体病理学分野　（附属板橋病院　病理部・病理診断科）

（研究責任者）羽尾　裕之

＜研究期間＞

承認日　～　令和　11　（西暦　2029）年　3 月　31 日

＜対象となる方＞

2017 年 1 月 1 日から 2028 年 12 月 31 日の期間に日本大学医学部附属板橋病院、昭和大学医学部、東京都監察医務院で、ご遺族のご承諾の元病理解剖を行われた方。

＜研究の目的＞

虚血性心疾患は、ライフスタイルの欧米化や高齢化に伴い、その発症率は年々増加しています。

この研究は解剖例の冠状動脈を詳細に検索することによって、心筋梗塞などの虚血性心疾患の病態解明を目指します。また血管内の画像と標本の病理組織学的所見を比較することによって、動脈硬化性病変の診断技術向上に貢献できると考えられます。

さらに、治療のためにステントを留置した部分の標本作製により、治療による重要な組織変化を観察します。治療後の病態を明らかすることで、今後の患者さんの治療に役立つと考えられます。

＜研究の方法＞

解剖で摘出された冠状動脈を用いて、血管内の画像を撮影します。その後標本を作製して組織の変化を観察します。死亡状況や血管内の画像、組織標本を比較し検討します。

＜研究に用いる試料・情報の項目＞

解剖によって摘出された病理組織、検査データ、患者情報

＜研究を実施する機関組織＞

日本大学医学部　病態病理学系人体病理学分野　（附属板橋病院　病理部・病理診断科）　羽尾裕之

昭和大学医学部　法医学講座　松山高明

東京都監察医務院　林紀乃

＜お問い合わせ窓口＞

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

病理部・病理診断科　氏名：羽尾　裕之

電話：03-3972-8111　内線：(医局) 2252